

全校の皆さん、明けましておめでとうございます。西暦 2025 年、和暦で令和 7 年の学校生活スタートです。元気そうなみんなの顔を久しぶりに見て、ほっとしながらわくわくしています。今年もよろしくお願いします。

さて、今年巳年ですので、ここでは蛇、それも毒蛇に関わる話をします。

一般的に言って、毒蛇は人々から忌み嫌われます。そりゃあそうですよね。その毒は私たちを蝕み、時に命をも危険にさらすのですから。でも、そんな蛇の毒から血圧を下げる薬がつくられ、逆に人の命を救っているという事実もあります。さらに現在、蛇の毒からアルツハイマー病の治療薬をつくる研究が進められているそうです。これができれば認知症に苦しむ人々がどれだけ救われるでしょう。医学の世界において、毒はまさに希望です。

さて、皆さんの令和 7 年をイメージしてください。穏やかで協力的、誰からも慕われ、地域から厚く応援される皆さんですので、令和 7 年も必ずやいい年になるでしょう。ただ、一年は長く、時に皆さんの心にダメージを与える「毒」が、目の前に立ちはだかることもあるはず。「俺に限ってそんなないし」「私は絶対大丈夫」などと思ってる人、その場で手を挙げてください。はい、それもポジティブでいいです。でもまあ、せっかくですので一緒に考えてくださいね。

生活の中に立ち現れ、心にダメージを与える毒…何をイメージしますか？ 友だちとのけんか、何らかの失敗、苦手なこと・避けたいこと、予期せぬトラブル…。イメージはそれぞれでしょうが、ここで願うこと、それは、そんな「毒」に心蝕まれそうになろうとも、それを「薬」、言い換えれば自分に役立つものに変えようとする心のしなやかさをもちたい、ぼきりと簡単には折れない心をもちたいということです。そのためにすべきことはと考えましたが、これだ！という答えにはたどり着きません。ただ、簡単に落ち込まない、いちいちむかつかない、「もうダメ」「もう無理」と言わない、すぐにあきらめない、この苦しみは「毒」じゃなく、自分にとっての「薬」かもと考える…そんなことを大切にと、漠然とながら思うのですが、皆さんはどうでしょう。皆さんなりに考えてみてください。

いずれにしろ、世の中には、毒を薬に変える人、人を救うため毒と向き合い続けている人がいます。そんな人たちと同様の志、つまりは明るい未来を夢見てマイナスをプラスに変えようとする志を、私たちの心にもぜひ宿したいものです。

前途洋々。皆さんの将来は明るく開けています。さあ、いい一年にしていきましょう。